

(6月の野菜の見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年入荷 量(t)	前年占有 率(%)	
だいこん		7,737	95	8,199	89	107	77	3	-	青森、千葉産中心の入荷で全体の約8割を占める。青森産は、前年よりもさらに遅れると予想される。千葉も残量は少ないと予想される。全体の入荷量は前年を下回り、価格は前年を上回る見込み。
にんじん		6,396	98	6,763	129	109	146	-	-	千葉産中心の入荷で全体の約8割を占める。主力の千葉が遅れており、6月上旬は端境期となって一時的に高値になる見込み。全体の入荷量は前年を下回り、価格は前年を上下回る見込み。
はくさい		6,378	97	5,753	58	121	60	0	-	長野、群馬産等関東産が市況をリードする。今年は高原産地が遅れている。長野産の出荷は6月中旬からスタートするが前年より7日程度遅れ。群馬産はピークは6月中旬からとなり、前年より10日前後の遅れ。全般の入荷量は前年を下回り、価格は前年を上回る見込み。
ほうれんそう		1,680	100	1,609	403	107	396	1	0.1	東北、関東が主産地となる。今年は東北や高原の産地が多く、価格を引っ張り上げると予想される。岩手産は6月は前年並と予想される。全体の入荷量は前年並、価格は前年を上回る見込み。
キャベツ類		17,218	98	15,544	63	111	65	-	-	千葉、茨城産中心の入荷で全体の約7割を占める。千葉産は前年並に多いが、群馬が遅れる分、前年より少なくなると予想される。全体の入荷量は前年を下回り、価格は前年を上回る見込み。

(6月の野菜の見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	前年入荷量(t)	前年占有率(%)	
ねぎ		4,270	100	4,374	359	97	302	0	-	茨城、千葉産中心の入荷で全体の約8割を占める。夏ねぎは生育が遅れているため出回りは少ない見込み。低温の影響により、L中心でやや細めと予想される。全体の入荷量は前年並、価格は前年を下回る見込み。
レタス類		8,159	98	7,779	118	106	121	-	-	長野、群馬産中心の入荷で全体の約9割を占める。生育は6月には回復してくると予想されるが、サイズは引き続き小振りの物の比率が高い見込み。全体の入荷量は前年を下回り、価格は前年を上回る見込み。
きゅうり		7,485	98	7,479	210	105	201	120	1.6	埼玉、福島産中心の入荷で全体の約4割を占める。3、4月の低温の影響により、木に力がなく作柄はやや悪い。埼玉産の7月の無加温ものの切りあがり早く、好天が続けば6月にピークがくるが、6月としては平年を下回る見込み。全体の入荷量は前年を下回り、価格は前年を上回る見込み。
なす		3,611	93	3,857	314	111	302	-	-	高知、福岡、群馬産中心の入荷で全体の約7割を占める。今年も名茄子中心に作柄は悪い。高知産は5月下旬の天候が平年並となれば6月は順調に出荷される見込み。全体の入荷量は前年を下回り、価格は前年を上回る見込み。
トマト		8,688	97	9,117	262	99	233	165	1.9	栃木、千葉、愛知産中心の入荷となる。今年は全般に生育が遅れて入荷は少ない見込み。栃木は着果状況から5月下旬から6月もピークらしいピークはないと予想され、小玉が多い。全体の入荷量は前年を下回り、価格も前年をやや下回る見込み。

(6月の野菜の見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	前年入荷量(t)	前年占有率(%)	
ピーマン		2,366	98	2,593	307	107	286	-	-	茨城産中心で全体の約9割を占める。茨城の作柄が悪いため、6月も生育を回復しないまま終了する見込み。全体の入荷は前年を下回り、価格は前年を上回る見込み。
ばれいしょ		7,877	102	8,231	160	92	127	-	-	長崎、静岡産中心の入荷となる。静岡産の男爵はやや生育の遅れが見られるが6月上旬には本格的に入荷する見込み。九州産は残量は十分にあり、6月いっぱい潤沢に入荷すると予想される。全体の入荷量は前年をやや上回り、価格は前年を下回る見込み。
たまねぎ		10,942	100	11,416	95	95	78	-	-	佐賀、香川産中心の入荷で全体の約7割を占める。佐賀産は玉伸びが悪く、例年より2L率が低い見込み。引き続き6月も入荷量は少ないことが予想されることから、引き合いは強い見込み。全体の入荷量は前年並、価格は前年を下回る見込み。